

熊本県商工会議所連合会経営環境の変化による 定期影響調査

～2024年3月 調査結果～

■調査概要

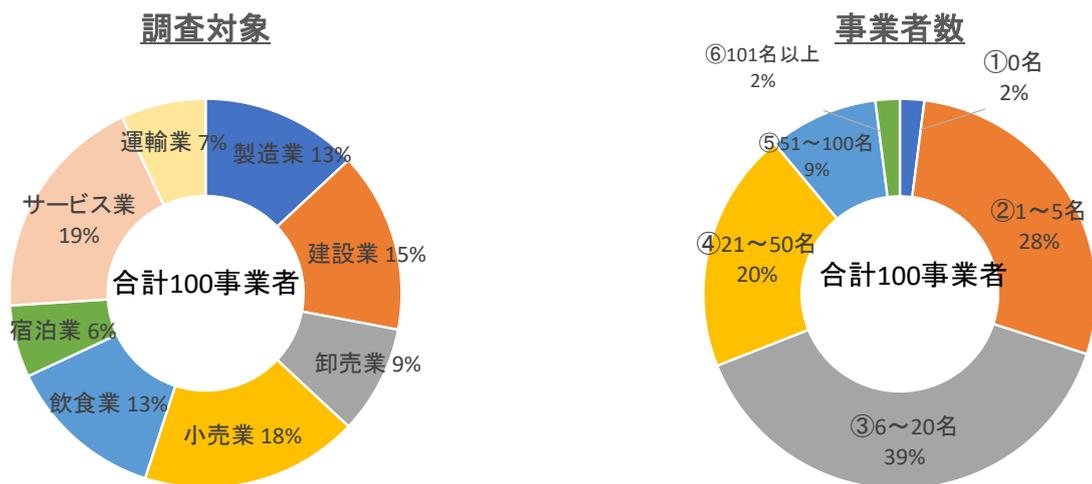
*調査期間：2024年4月15日（月）～4月24日（水）

*調査対象：県下商工会議所 会員企業100社

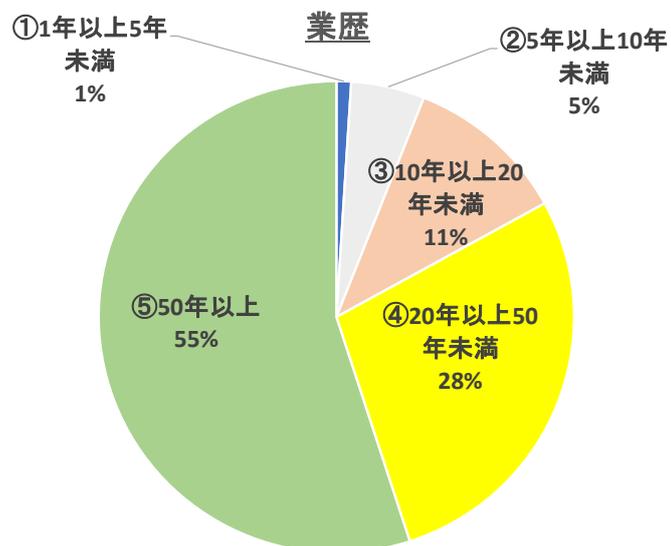
*調査方法：会員企業へのヒアリング調査

※数字の表示単位未満は四捨五入、または切り捨てたものがあるため、合計が100%にならない場合があります。

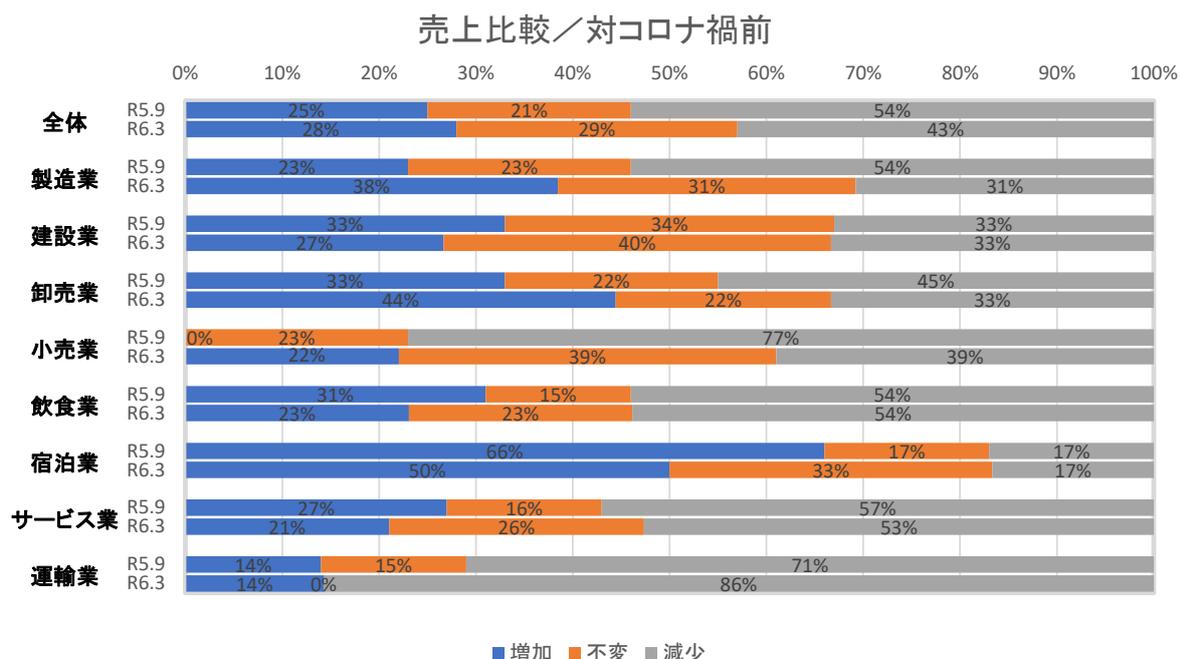
■調査業種の構成比／従業員規模



■業歴



(1) 売上比較／対コロナ禍前



(1) 売上(令和6年3月と平成31年3月との比較)

- ・全体では売上が減少したと回答した企業の割合が43%で最も高いものの、前回(R5年9月)と比べると、11ポイント低下した。
- ・売上が増加した企業の割合を業種別にみると、トップが宿泊業50%、次いで卸売業44%、製造業38%の順であったが、宿泊業は前回と比べると16ポイント低下した。
- ・売上が減少した企業の割合を業種別に見ると、運輸業86%、次いで飲食業54%、サービス業53%の順となり、特に運輸業は前回と比べると15ポイント上昇した。

①「増加した」の要因

【宿泊業・人吉商工会議所】

水害後のリニューアルオープンと単価を上げた。

【製造業・人吉商工会議所】

新商品を開発し販売したので仮需要で販売金額が増加した。

【飲食業・熊本商工会議所】

売上は30%程度増加。価格転嫁による値上げ(コース料理4,500円→5,500円)、インバウンド客の増加。

【飲食業・本渡商工会議所】

客足がもどってきた。ホテルの稼働も増えてきて外国人客や観光客も来店が増えてきた。

【卸売業・牛深商工会議所】

同業他社の廃業により、取引先店舗が増え、売上が増加した。

②「変わらない」の要因

【小売業・牛深商工会議所】

地域の人口減少により来店者数が減少。物価高による販売価格上昇による売上高増加分と相殺された。

【製造業・山鹿商工会議所】

イベントも始まり、観光客も戻ってきた感があり、売上・客数ともにコロナ過前とほぼ同じ程度になった。

【小売業・荒尾商工会議所】

原材料費は高騰しているが、価格を引き上げず、かつ顧客離れも起きていないため、売上自体はほとんど変化していない。

③「減少した」の要因

【卸売業・荒尾商工会議所】

消費意欲が戻っておらず、価格転嫁で値上げしたため売上減少した。

【運輸業・本渡商工会議所】

ドライバーが減少。2024年問題で仕事をお断りしている部分もある。

【卸売業 水俣商工会議所】

(酒販業)受注量の減少。ビフォーコロナと比較し、大規模な宴会の機会が明らかに減少していると感じ、業務店(卸先)からの受注量がコロナ以前程度に届いていない。2次会に行く習慣も廃れたと思う。

【運輸業・水俣商工会議所】

コロナの影響もあるが、地域の人口減によるところが大きいと感じている。飲酒後の利用ニーズのほか、高齢者の通院・買い物など、日常生活に利用される場面が主であるため、生活者の人口に比例して売上高も減るものと思われる。

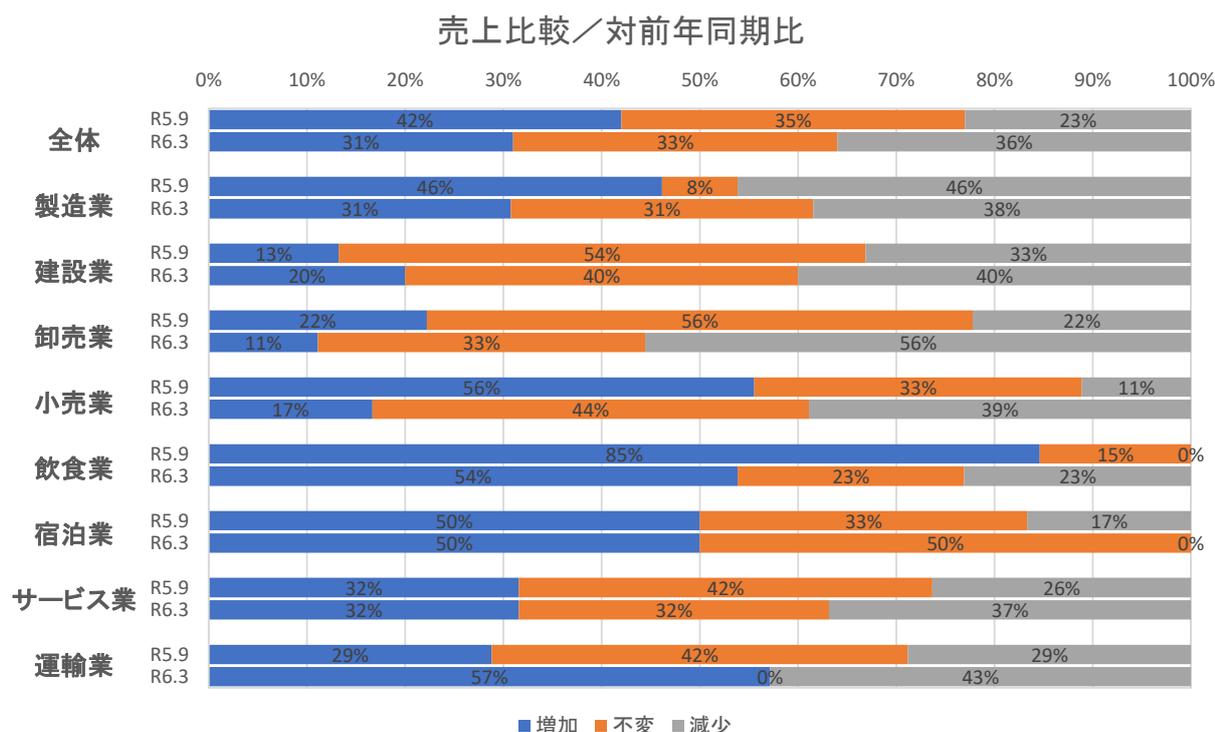
【サービス業・八代商工会議所】

コロナによって、クラスターが発生。事業所を休止しなければいけない状況だった。

【飲食業・熊本商工会議所】

客数の減少、ライフスタイルの変化により外食が減少、テイクアウト増加が考えられる。

(1) -2売上比較／対前年同期比



(1)-2 売上(令和6年3月と令和5年3月との比較)

- ・全体では売上が減少したと回答した企業の割合が36%と最も高く、前回(R5年9月)と比べると、13ポイント上昇した。
- ・売上が増加した企業の割合を業種別にみると、トップが運輸業57%、次いで、飲食業54%、宿泊業50%であったが、飲食業は前回と比べると31ポイント低下した。
- ・売上が減少した企業の割合を業種別に見ると、卸売業56%、次いで運輸業43%、建設業40%の順であり、特に卸売業は前回に比べて34ポイント上昇した。

①「増加した」の要因

【飲食業・熊本商工会議所】

大・中規模イベント(学会等)の開催による受注増加の為。

【サービス業・熊本商工会議所】

昨年はコロナの影響はまだあったが、現在はほぼ影響なく取引先の顧客も、もとに戻っている。

【飲食業・牛深商工会議所】

行動制限がなくなり、消費者のコロナに対する意識が変化していると感じる。観光客が増加し、地元では宴会が復活しつつある。

【運輸業・八代商工会議所】

まだ運賃の値上げは、できていないが、働き方改革による高速使用分の上乗せにより少々の増加あり。(高速代・日本製紙代)

【宿泊業・山鹿商工会議所】

宴会も少しずつ増えてきて、昨年より売上が増加した。

②「変わらない」の要因

【サービス業・荒尾商工会議所】

施工件数は伸びてきているが、物価高・原油高により売上自体はほぼ変わらない。

【建設業・山鹿商工会議所】

建築資材等高騰しているが、受注に大きな変化はなく、売上自体ほぼ変わらない。

【製造業・熊本商工会議所】

価格単価を上げている状況ですので販売量は落ちているが売上げは程同額。

③「減少した」の要因

【卸売業・熊本商工会議所】

県知事選挙によりスナック店への来客数減少、コロナ5類移行直後に比べ、客足が落ち着いていた。

【小売業・山鹿商工会議所】

昨年、山鹿市の宿泊客向けクーポンの利用があったため、今年は減少した。

【製造業・八代商工会議所】

従業員不足で現場作業が限られて減少した。

【運輸業・本渡商工会議所】

一番の取引先の売上減が大きく影響している。

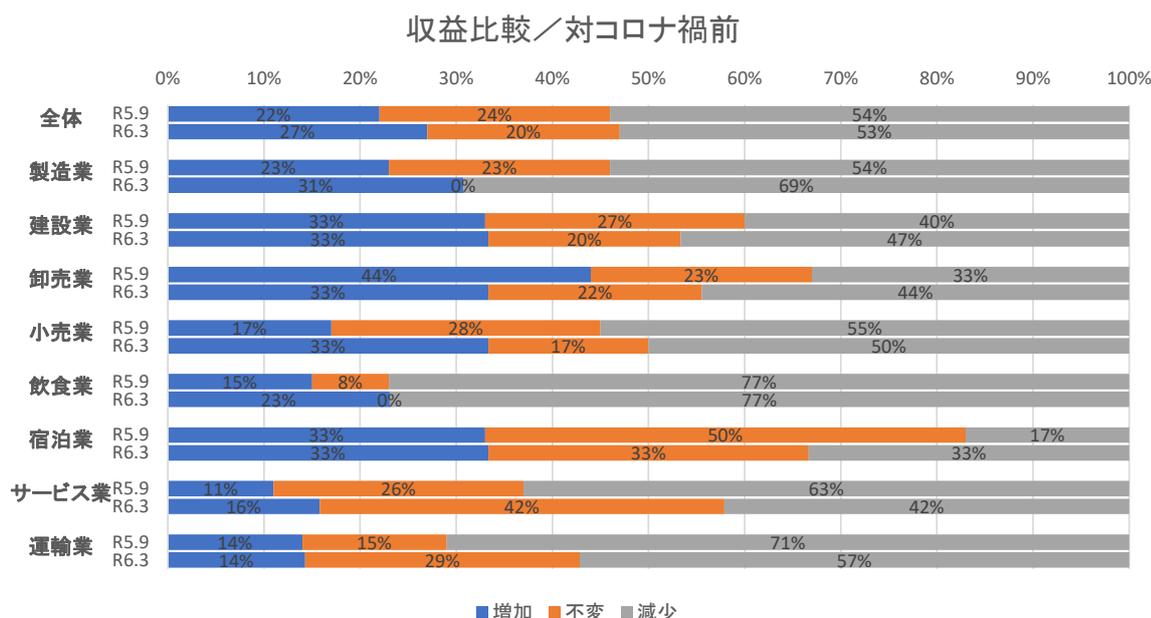
【小売業・熊本商工会議所】

今年の3月は特に悪い。催事等は行われてきているが、お客様でも旅行交通費等にお金が取られて、他の費用への買い控えが行われていると思われる。今年の3月はコロナ前、コロナ禍と異なった減少となっている。

【建設業・水俣商工会議所】

令和2年豪雨災害の復旧工事が減少したため

(2) 収益比較／対コロナ禍前



(2) 収益(令和6年3月と平成31年3月との比較)

- ・全体では収益が減少したと回答した企業の割合が53%と最も高くなった。
- ・収益が増加した企業の割合を業種別にみると、建設業、卸売業、小売業、宿泊業が33%で同率であり、前回(R5年9月)と比べると、小売業は16ポイント上昇した。
- ・収益が減少した企業の割合を業種別に見ると、飲食業77%、次いで製造業69%、運輸業57%の順となり、特に製造業は前回と比べて15ポイント上昇した。

①「増加した」の要因

【建設業・荒尾商工会議所】

取引先と単価交渉しあげてもらったため、赤字がなくなった。

【建設業・熊本商工会議所】

物価高騰の影響もあり、利益率は下がったものの、売上が増加したことにより利益の額も増加。

【卸売業・水俣商工会議所】

取扱商品の一部分(水の宅配事業)の業績が伸びており、利益率が良い商品であるため全体の収益の増加に繋がっている。

【小売業・山鹿商工会議所】

人件費が減り、収益は上がっているが負担が増えている。

【宿泊業・人吉商工会議所】

水害後のリニューアルオープンと単価を上げた。水害後リニューアルの際に様々な機械等新しく省エネとなり、コロナ前より光熱費等経費が減少した。

②「変わらない」の要因

【サービス業・熊本商工会議所】

ベースアップによる人件費増により、収益としては変化なし。

【宿泊業・牛深商工会議所】

売上げが増加しても人件費等が増加したため。

【卸売業・水俣商工会議所】

H31年当時は現在より人員が多かったため、単月収益は比較して増加かもしくは現在と同水準と推測。

「③減少した」の要因

【製造業・熊本商工会議所】

燃料費・包材費用の上昇で価格単価上昇しているが、吸収しきれていない。

【サービス業・熊本商工会議所】

パート数名を最低賃金で雇用しているため、最賃アップは直接的な影響が大きい。

【飲食業・牛深商工会議所】

売上高は変わらないが、食材の価格上昇や、電気・ガス料金の値上げ・人件費の増加など経費が大きくなり、収益は減少している。

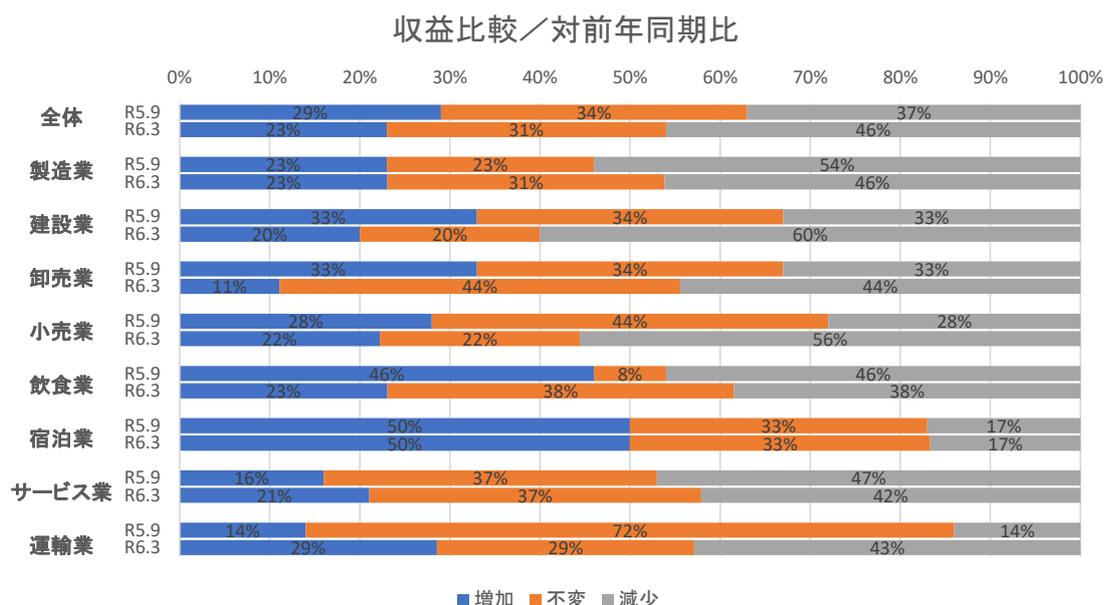
【サービス業・熊本商工会議所】

原材料が高騰しているが、価格転嫁していないため。コロナ前と比較すると、溶剤は約4倍(2万⇒9万)まで値上がりしている。

【運輸業・水俣商工会議所】

5年の間に1度、運賃改定(値上げ)はあったものの、売上高は減少しているうえ、乗務員の人員は大きく変動していない。運賃改定による客単価上昇も、燃料費の上がり幅や人件費は補えていない。

(2) -2 収益比較／対前年同期比



(2)-2 収益(令和6年3月と令和5年3月との比較)

- ・全体では収益が減少したと回答した企業の割合が46%と最も高くなり、前回(R5年9月)と比べると、9ポイント上昇した。
- ・収益が増加した企業の割合を業種別にみると、トップが宿泊業50%、次いで、運輸業29%、製造業と飲食業が23%であったが、飲食業は前回と比べると23ポイント低下した。
- ・収益が減少した企業の割合を業種別に見ると、建設業60%、次いで小売業56%、製造業46%の順となり、特に小売業は前回と比べて28ポイント上昇した。

①「増加した」の要因

【飲食業・熊本商工会議所】

材料費及び光熱費は上昇したが、人手不足で人件費が下がったため、結果として収益は改善している。

【製造業・熊本商工会議所】

令和5年3月は単価を上げていなかったが、R5年度内の値上げ実施等により増収。ただ、発送費用、燃料費・包材費用、原料の継続的かつ急激な価格高騰に値上げが追いついていない状況。

【小売業・牛深商工会議所】

注力する部門・縮小部門など事業の見直しを行い、粗利率が上昇した。また、コロナが落ち着き、イベントの復活による弁当の受注が増加した。

【運輸業・牛深商工会議所】

乗船客が増えたため。

【宿泊業・人吉商工会議所】

水害後のリニューアルオープンと単価を上げた。水害後リニューアルの際に様々な機械等新しく省エネとなり、コロナ前より光熱費等経費が減少した。

「②変わらない」の要因

【小売業・牛深商工会議所】

利益をあげるため、無駄な出費をおさえている。

【卸売業・牛深商工会議所】

令和6年1月より更なる取引先の増加があり、卸価格の値上げも行っているが、収益の増加はまだ見られない。

【卸売業・熊本商工会議所】

仕入れ価格が上昇したものの、その分を商品価格に転嫁している為。

③「減少した」の要因

【建設業・山鹿商工会議所】

物価高騰と賃金引上げの影響は大きい。少しずつ価格転嫁しているが、収益は上がらない。

【製造業・八代商工会議所】

原材料、容器等の価格高騰により利益が減少している。

【サービス業・荒尾商工会議所】

結婚式に比べて宴会パーティーの売上(収益)は高いが、1件あたりの単価が5~10倍程度違うため減少傾向にある。

【卸売業・水俣商工会議所】

販管費上昇。販売価格に転嫁できていない、梱包資材等の上昇が痛手。

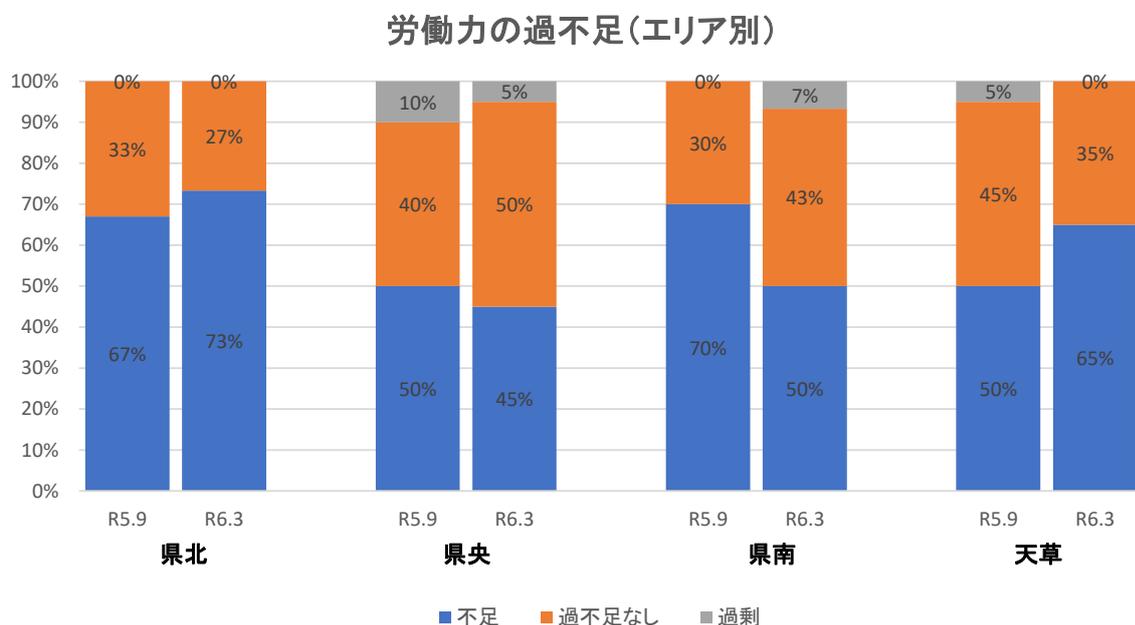
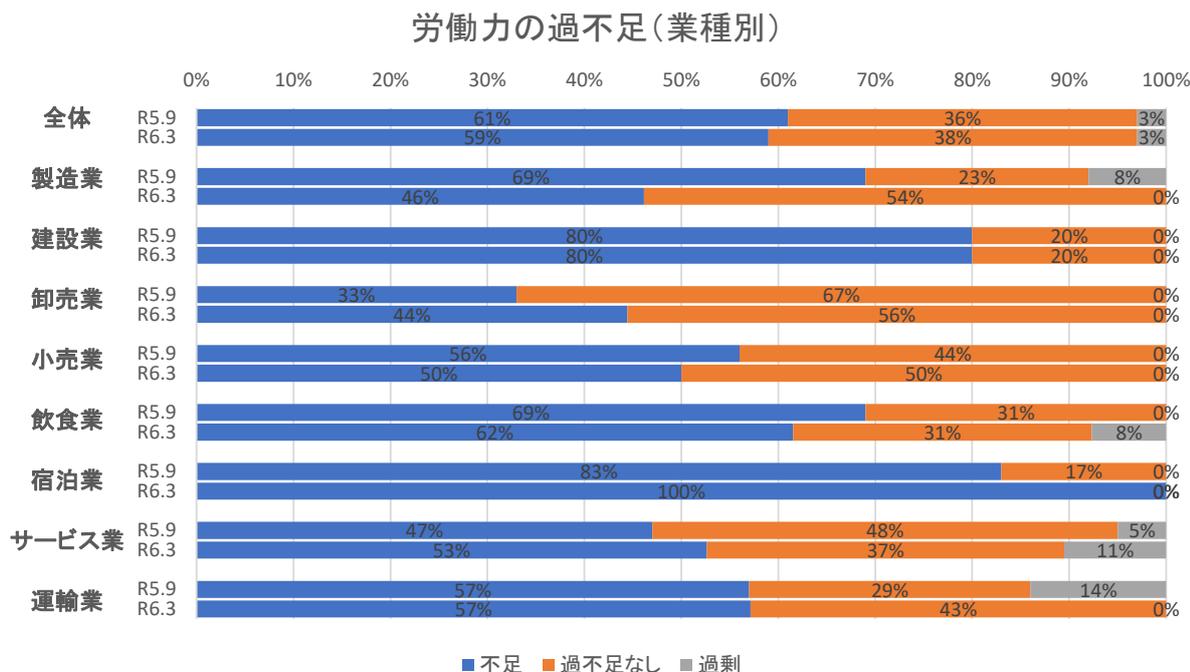
【建設業・八代商工会議所】

工期の延長により未施工事分が増えているため利益額は減っている。前年比べると利益率は上がっているが今は落ち着いてきている。

【小売業・荒尾商工会議所】

原材料費は昨年と比べて高騰しているが、価格を引き上げていないため、減少している。

(3) 労働力の過不足について



※県北(荒尾、玉名、山鹿) 県央(熊本) 県南(八代、水俣、人吉) 天草(本渡、牛深)

(3) 労働力(令和6年3月時点の人材・従業員の過不足)

- ・全体では労働力が不足していると回答した企業の割合が59%と半数以上を占める結果となった。
- ・労働力が不足している企業の割合を業種別にみると、宿泊業100%、次いで建設業80%、飲食業62%の順であり、前回(R5年9月)と比べると、宿泊業が17ポイント上昇した。
- ・エリア別では、県北地域で労働力が不足している企業の割合が73%と最も高い結果となった。

①「不足」の要因

【小売業・山鹿商工会議所】

時給制から月給制に変更し、合わせて労働時間の1時間短縮を行い、働きやすい環境を整備したことで、ハローワークを通じて40代以上の方からの応募はあるが、社員の年齢バランス等を考慮し採用に至っていない。

【飲食業・熊本商工会議所】

人が集まらない。客数を減らして単価を上げることができる店は人手を減らすことで対応できるが、それができない店(蕎麦屋など日常の食事を提供する店)は客数を稼ぐ必要があるためそれもできない。

【建設業・山鹿商工会議所】

採用しても、現場では活躍できるが、監督者として働いてもらうには数年かかる。採用と社員の教育が課題である。

【サービス業・熊本商工会議所】

需要増に伴い、同業他社も増えてきた。また、これまで採用募集をしていなかった中堅企業が採用に力を入れてきている印象。

【宿泊業・人吉商工会議所】

県内外に求人を出しているが申込が来ない。特別職(料理人)など専門的な職種が不足している。

②「過不足なし」の要因

【運輸業・水俣商工会議所】

実情としては「過剰」寄りの「過不足なし」。労働生産性は低いと思うが、配車ニーズに応じるために複数の乗務員を拘束せざるを得ない。受注予測ができるサービスではないので致し方ないかと感じている。

【サービス業・荒尾商工会議所】

求人のマッチングアプリの活用などにより以前に比べて不足になる事が減った。ただしそれに伴い経験不足のスタッフがいる確率が高いため、熟練スタッフの負担が増えている。

【飲食業・熊本商工会議所】

正社員においてはコロナ禍でも辞めさせることなく雇用している。アルバイトについては、大学生の先輩・後輩のつながりで確保できている。また、紹介により入ったアルバイトが3カ月間務めた場合、紹介者に商品券のインセンティブ制度あり。

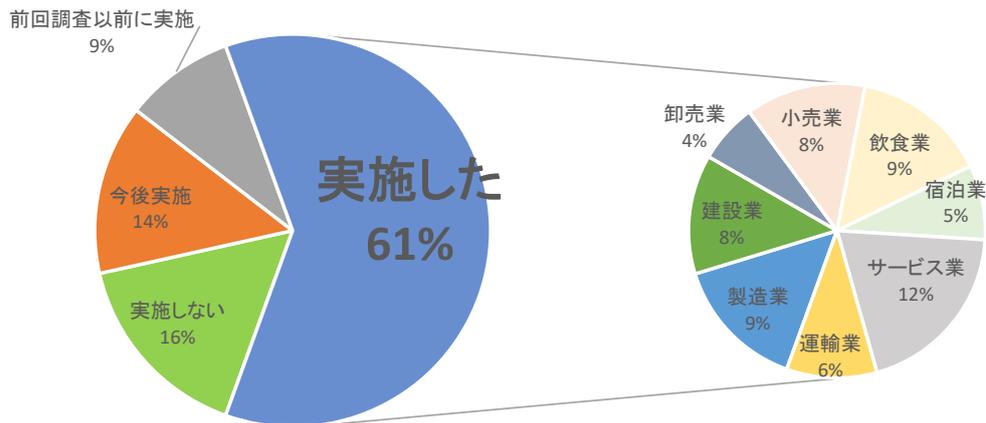
③「過剰」の要因

【サービス業・熊本商工会議所】

産休や育休を取得する社員の穴を埋めるため、人材をある位程度確保しなければならず、過剰と感じる。社員の年齢構成比としては、20代・50代と二極化している状態。30～40代が辞めたということではなく、会社設立時に50代の仲間が立ち上げ、その後20代の若手社員を雇用したことで二極化。

(4) 賃上げの実施について

賃上げの実施(令和5年10月～令和6年3月)



(4) 賃上げ(令和5年10月～令和6年3月の期間の従業員の賃上げ実施の有無)

- ・全体では賃上げを実施したと回答した企業の割合が61%と半数以上を占める結果となった。
- ・賃上げを実施したと回答した企業の業種別の割合は、トップがサービス業で12%、次いで、製造業と飲食業が9%、小売業と建設業が8%の順となった。

①「実施した」の内容

【サービス業・荒尾商工会議所】

勤続年数によってベアはやっている。パートの賃金に関しては、引き上げをしないと雇用者から選ばれないので引き上げをしている。(現:1,000円)また、更なる引き上げも検討中。

【サービス業・熊本商工会議所】

10月にパートに対する引上げを実施。今年度に入って職員のベースアップを実施。

【製造業・水俣商工会議所】

令和5年10月の最低賃金改定に伴いパートを中心に50円の賃金引上げを実施。

【飲食業・熊本商工会議所】

業績も上がっている為、アルバイトは1,000→1,150円へ時増。また、従業員も平均3%給料増。

【宿泊業・人吉商工会議所】

従業員のモチベーションアップのため、ボーナスをアップした。またアルバイトも時給をアップし、従業員全体の年収を増加した。

【小売業・水俣商工会議所】

業績に応じて5パーセント程度増のベースアップを実施

②「前回調査(令和5年9月)以前に実施した」の内容

【小売業・山鹿商工会議所】

以前ベースアップを行った。今後も上げていく必要があると思うが今のところ未定。

③「今後、実施する予定あり」の内容

【サービス業・熊本商工会議所】

大企業の賃上げ報道により、世間的に賃上げせざるを得ない雰囲気を感じている。ただその原資がないため、試行錯誤している状況である。

【建設業・八代商工会議所】

例年4月にベースアップを基本として賃金を上げている。今年度は基本給2,000円アップ等で平均5%強の増加になった。

④「実施しない」の内容

【サービス業・熊本商工会議所】

取引先が単価の値上げに応じてくれない。

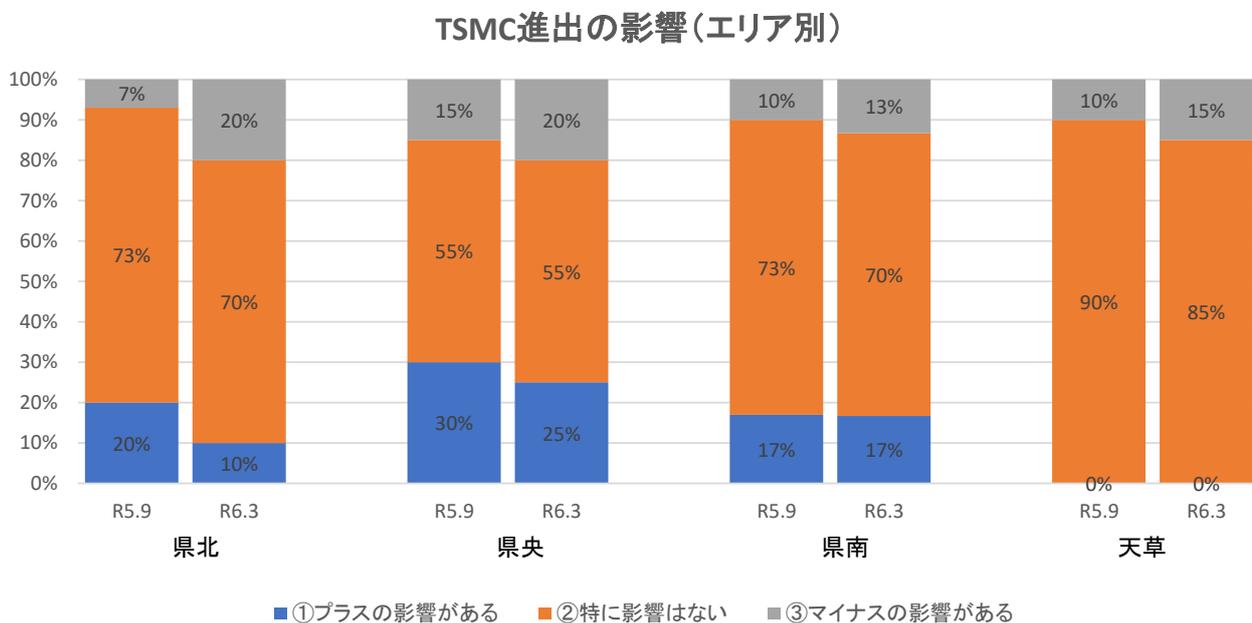
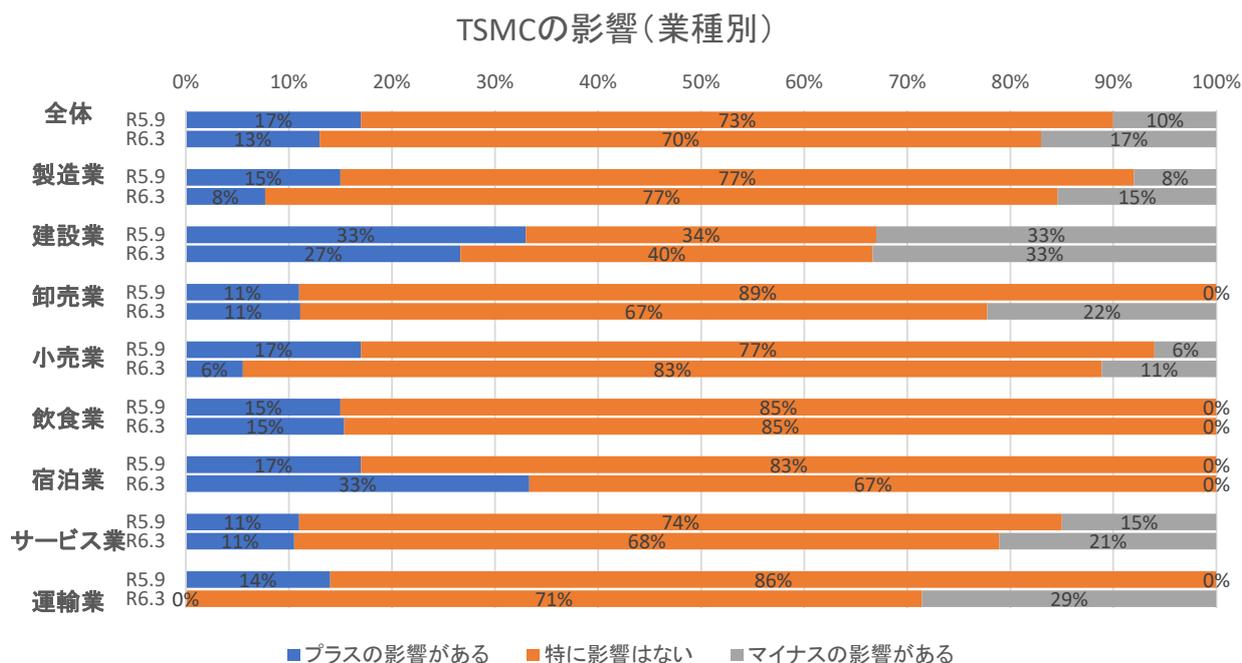
【製造業・山鹿商工会議所】

値上げ等の施策で収益に回復が見られれば、その後検討してみたい。

【卸売業・牛深商工会議所】

今後、原価率の上昇が見込まれ、安定した収益の確保が先決であるため。

(5) TSMCの影響について



※県北(荒尾、玉名、山鹿) 県央(熊本) 県南(八代、水俣、人吉) 天草(本渡、牛深)

(5)TSMC進出の影響

全体では影響なしと回答した企業の割合が70%と大半を占める結果となった。プラスの影響があると回答した企業の割合は宿泊業が33%で最も多く、前回(R5年9月)と比べると、16ポイント上昇した。マイナスの影響があると回答した企業の割合は建設業が33%で最も高くなり、次いで運輸業が29%で、前回と比べると29ポイント上昇した。また、エリア別では、マイナスの影響があると回答した割合が全てのエリアで前回に比べて上昇した。なお、前回調査同様、天草地域においてプラスの影響を受けているとの回答は0であった。

「①プラスの影響がある」の内容

【建設業・荒尾商工会議所】

関連会社の設備費増加、新事業による工事物件増加。

【建設業・熊本商工会議所】

TSMCの仕事は大手1社が受注している。住宅メーカーはモデルルームが即売する等の影響があり、それらの植栽工事案件を受けている。

【宿泊業・山鹿商工会議所】

TSMC見学を含む社員旅行での宿泊やTSMCに勤められている方のご家族(外国人)が熊本に来た際に利用いただいた。

【小売業・山鹿商工会議所】

工事作業員の方の宿舎への米受注があったが、完成していくと共に受注量は減ってきている。第2工場建設に期待している。

「②特に影響はない」の内容

【飲食業・熊本商工会議所】

特に影響はないが、副次的に取引先の受注が増えた可能性あり。

【サービス業・熊本商工会議所】

グループ会社の歯科医院において、TSMC進出を契機に移住してきた外国人に積極的なアプローチをしたいと思っているが、語学力の問題などもあり、受入体制が整わず踏み切れていない。

【飲食業・人吉商工会議所】

人吉は特に影響はないが、熊本市内の店舗は台湾の方の来店頻度が増加した。

「③マイナスの影響がある」の内容

【運輸業・山鹿商工会議所】

売上減の影響は無いが、人員不足に拍車がかかった。

【サービス業・熊本商工会議所】

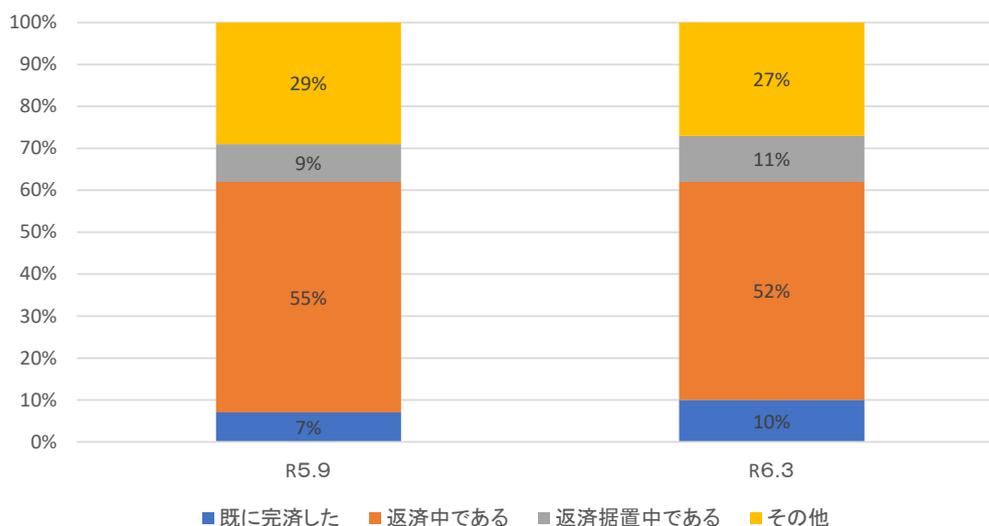
光の森方面へ利用者(障がい者パート)の送迎を行う際、渋滞に巻き込まれてしまう。

【建設業・山鹿商工会議所】

賃金引上げ人手不足に追い打ちをかけている。売上には直接影響はないが今後山鹿に工業団地などができ、業況が上がることを期待する。

(6) コロナ関連融資

コロナ関連融資の利用状況について



(6)コロナ関連融資の利用状況

全体では返済中であると回答した企業の割合が52%と過半数を占める結果となった。なお、その他と回答した全ての企業は、コロナ関連融資を利用していない。

①「既に完済した」の内容

【小売業・本渡商工会議所】

コロナ関連融資は昨年返済済み。また、返済と同時に違う融資を受けた。

【製造業・八代商工会議所】

当時業況不透明な状況であったので借入をおこなったが、完済した。

②「返済中である」の内容

【小売業・山鹿商工会議所】

コロナで資金繰りが厳しく、既存借入金をまとめて1本化し、現在返済中である。

【宿泊業・人吉商工会議所】

コロナ以前からの融資分を含め、バンクミーティングを開きながら返済中である。

【宿泊業・本渡商工会議所】

感染防止対策の設備導入と運転資金としての借り入れを行った。現在、返済中。

③「返済据置中である」の内容

【卸売業・熊本商工会議所】

返済のリスケジュールを行っており、1割が返済中で、9割が返済据え置き中である。

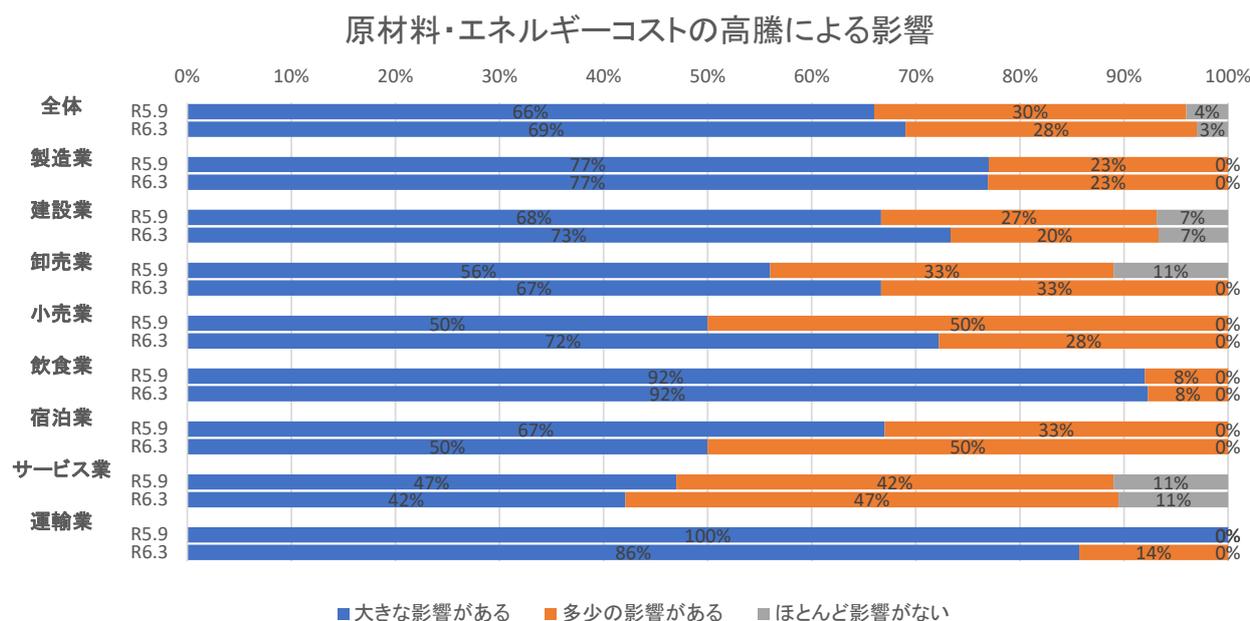
【サービス業・熊本商工会議所】

借入したものの使わずにそのまま残っている状態。令和7年～8年に返済が開始されるため、そのタイミングで一括返済を予定している。

【飲食業・八代商工会議所】

追加融資をお願いしました。現在、据置中だが返済が始まれば、不安は高まる。

(7) 原材料・エネルギーコストの高騰による影響について



(7) 原材料・エネルギーコストの高騰による影響

全体では大きな影響があると回答した企業の割合が69%となりトップ。多少の影響があると回答した企業28%を加えると、およそ97%の企業が影響を受けている結果となった。なお、大きな影響があると回答した企業のうち、前回(R5年9月)と比べて小売業は22ポイント上昇し、宿泊業は17ポイント低下した。

「①大きな影響がある」の要因

【建設業・荒尾商工会議所】

現場までのガソリン代については、価格転嫁できた。革手やヤッケ、タイベック、マスクといった会社支給の使い捨ての消耗品、ほか備品について軒並み値上げとなっており、利益をひっ迫している。

【建設業・山鹿商工会議所】

資材及び運搬コストアップ、キッチン及び水廻りのアップが大きい。

【サービス業・水俣商工会議所】

薬品関係が、20%から40%の値上がりとなり、原価を圧迫している。

【卸売業・人吉商工会議所】

商品のたび重なる値上げで値上げの案内や事務処理コストがかかるが回収できない

【小売業・熊本商工会議所】

電気代をおさえることをどうにかしようと苦心。空調を使用すると一気にあがってしまうので、電気代をあまり使わない新しい空調の買替を検討しているが、前と比較して空調代が倍近くになっているので検討している段階。

「②多少の影響がある」の内容

【サービス業・熊本商工会議所】

もともと大きな影響はなく、多少の高騰分も物価高騰対策の支援金を熊本市に申請し、月に数千円程の入金があることから影響は少ない。

【小売業・山鹿商工会議所】

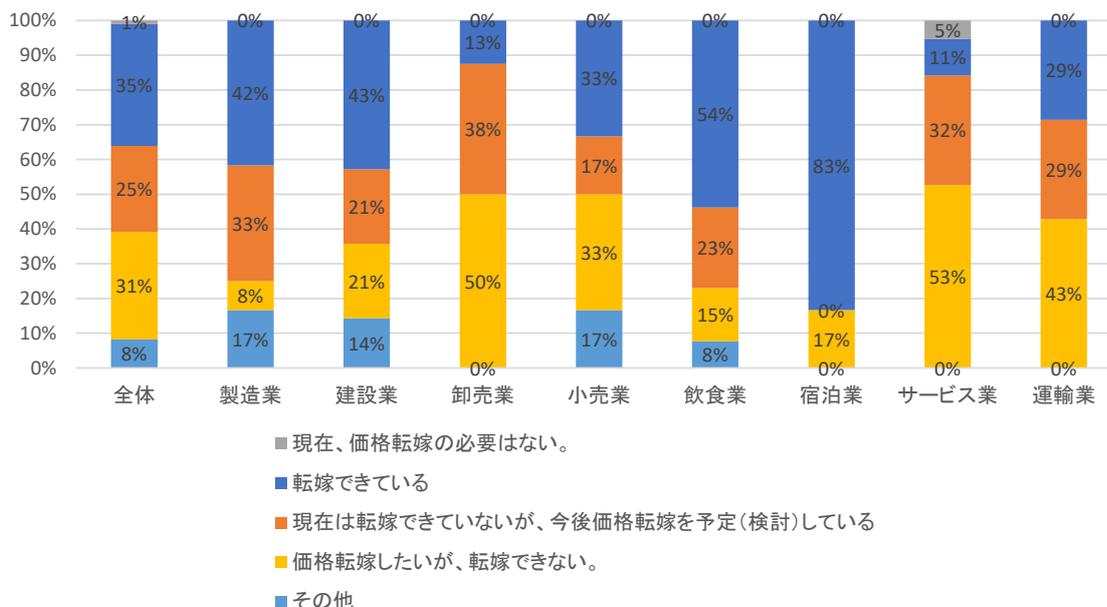
農家からの米仕入が上がっている。米には相対価格が決まっており安く買う事は出来ない。

【卸売業・水俣商工会議所】

仕入価格や配送費等が上昇し経費がかさんでいる。また、原材料費やエネルギーコストの高騰により設備投資を見合わせている取引先が増加し、当社の取扱商品の一部分(畜産資材)の売上に影響が出ている。

(8) 原材料・エネルギーコストの高騰による影響を受けた商品・サービスの価格転嫁について

商品・サービスの価格転嫁について



(8) 価格転嫁(設問7で「大きな影響がある」、「多少の影響がある」と回答した企業の価格転嫁の状況)

設問7にて影響があると回答した企業において、価格転嫁を実施した企業の割合は全体で35%となった。価格転嫁を検討中と回答した企業は25%、価格転嫁したいが転嫁できないと回答した企業は31%であり、併せて56%の企業にとっては価格転嫁が必要な状況となっている。なお、価格転嫁したいができないと回答した企業はサービス業が53%、卸売業が50%、運輸業が43%となった。

「①全て転嫁できている」の内容

【飲食業・熊本商工会議所】

一律500円程度値上げを実施。お客様にはご理解いただいている。

【建設業・山鹿商工会議所】

資材等の上昇分の価格転嫁を行い、現状として例年並みの受注ができているが、さらに価格転嫁し値上げとなると受注の減少が懸念される。

【小売業・水俣商工会議所】

仕入時の値上げ幅を販売額にほぼ100%転嫁できている。ただし販管費上昇は考慮していない。

【宿泊業・玉名商工会議所】

宿泊料金、食事提供の価格を上げた。

【製造業・水俣商工会議所】

価格転嫁を行っているが、そもそも売上が減少しているため収益の改善には繋がっていない。適正な価格転嫁が難しい。

「②現在は価格転嫁できていないが、今後転嫁を予定(検討)している」の内容

【サービス業・荒尾商工会議所】

一部、価格を引き上げたものの顧客離れの可能性が拭えず、全ての価格を引き上げてはいない。今後は一割程度の料金の引き上げを検討している。

【飲食業・牛深商工会議所】

値上げをすると顧客が離れてしまうのではないかと不安があるため、価格転嫁出来ずにいる。ただ、現状が厳しいため、今後は転嫁することを検討している。

【サービス業・熊本商工会議所】

他社との競争のため、値上げしづらい。これから、パッケージ等のデザインを変え、価格転嫁する予定。

【運輸業・牛深商工会議所】

燃料油の高騰により値上げを考えているが、乗船客が減少することが考えられるため検討している。

【製造業・熊本商工会議所】

県外の商品の激安商品による価格競争が激化し適正価格を守れないため、価格転嫁が適正にできない。(大手メーカーの価格が上がっていないので、上げられない)

【運輸業・人吉商工会議所】

運送業界で規定がありなかなか価格転嫁ができない。

「③価格転嫁したいが、転嫁できない」の内容

【卸売業・荒尾商工会議所】

転化できない。どこも厳しい状況の中で経営されているのが分かるため。

【運輸業・本渡商工会議所】

運賃交渉はしているが、高騰の部分を全部補填できているわけではない。

【運輸業・八代商工会議所】

国交省より出された「標準運賃」への交渉が全く進まず「あたりまえ運賃」が実現しない。(子会社、まご会社を超えて親会社との話ができない)

【卸売業・水俣商工会議所】

本体価格は上乘せできているが、客離れを懸念し、その他諸経費上昇分は転嫁できていない。

【サービス業・山鹿商工会議所】

価格転嫁をするためには県との協議が必要となるため、簡単には出来ない。

「④その他」の内容

【製造業・人吉商工会議所】

資材の高騰により商品の値上げを実施したが、資材等がさらに上がってきているので価格転嫁した時よりも資材コストが上がってきているため、転嫁でのカバー範囲を超えつつある。

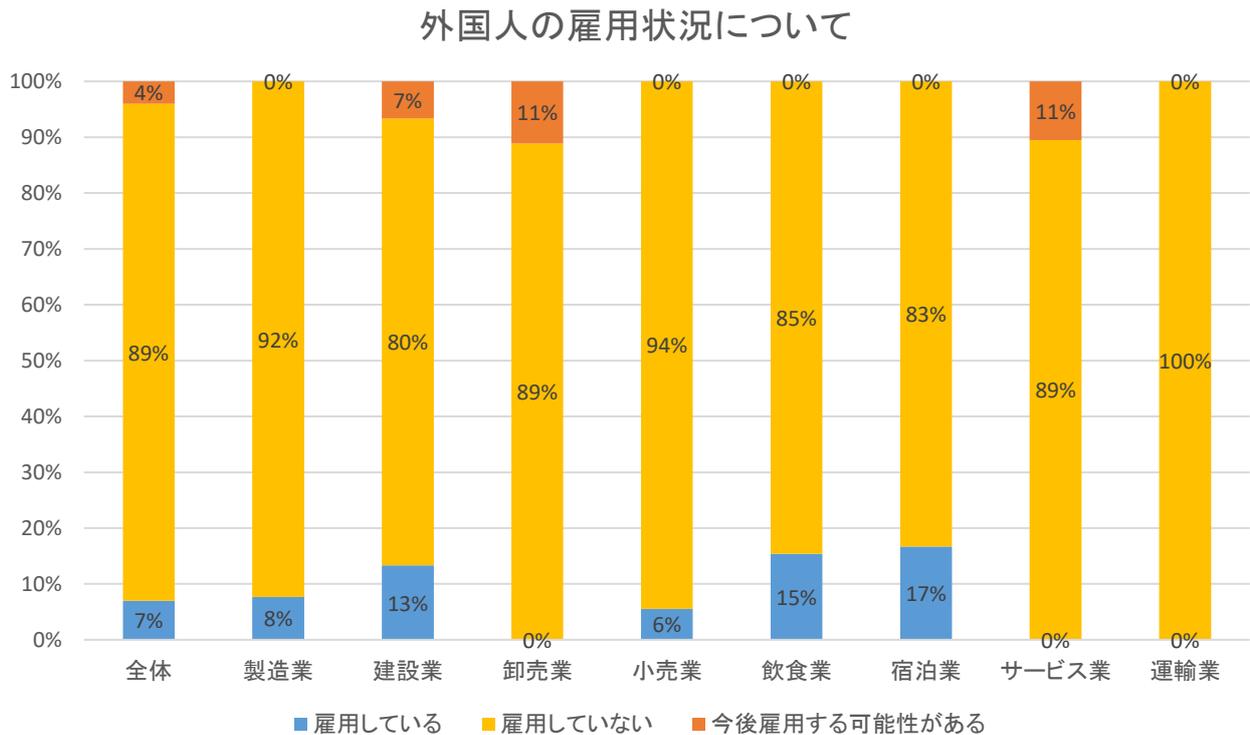
【飲食業・熊本商工会議所】

コース料理等について値上げを行っているが、食材が次々と値上げされるため十分な価格転嫁は行っていない状況。度々メニューの値上げは行えないため、最安値の昼ランチメニューをなくす等、価格転嫁以外の部分で対応せざるを得ない。

【小売業・八代商工会議所】

部分的に価格転嫁している。出来ていない部分もある。食料品の価格の変化には特に顧客は敏感であること。仮に鶏肉50円に人件費電気代円高など含めるなら倍以上になる。

(9) 外国人の雇用状況について



(9)外国人の雇用状況について

全体では、外国人を雇用していないと回答した企業の割合が89%と9割近くを占めた。外国人を雇用していると回答した企業は宿泊業が17%、飲食業が15%、建設業が13%となった。なお、運輸業は100%が外国人を雇用していないと回答した。

「①雇用している」の内容

【宿泊業・人吉商工会議所】

高度外国人材のメンバーと海外技能実習生メンバーを雇用している。

【飲食業・八代商工会議所】

インドネシアの子を在採用している。コミュニケーションには翻訳機を活用している。

【建設業・荒尾商工会議所】

技能実習生をベトナムから2名、ミャンマーから3名雇用している。

【小売業・八代商工会議所】

こちらで結婚している外国人であるため、日本語能力には問題ない。当初は、「容器にキレイに並べる」と「ただ容器に入れる」ことの違いを教えるのに苦戦したが今は主戦力である。

「②雇用していない」の内容

【運輸業・山鹿商工会議所】

免許取得や教育環境を整えるのが難しい。

【運輸業・水俣商工会議所】

労働力確保の面では検討の余地もあるかもしれないが、乗務員であれば現場に一人で立たせることになるため、顧客とのコミュニケーションに支障がないかなど、不安要素が多い。

【小売業・牛深商工会議所】

現在は考えていないが、従業員の高齢化もあり、将来はわからない。

【小売業・熊本商工会議所】

外国人あての求人をどこに出せばよいか不明。買い付けをするタイ語に加え、中国語が話せる人材やフィリピン等東南アジアの言語が話せる人材が欲しい。

【飲食業・熊本商工会議所】

熊本駅周辺の商圈を分析し、インバウンド需要の獲得が見込める場合は、韓国や台湾の方を雇用していきたい。

「③今後雇用する可能性がある」の内容

【サービス業・山鹿商工会議所】

6月よりミャンマーから2名雇用予定

【サービス業・玉名商工会議所】

人員不足や、職員の高齢化で今後退職者が見込まれることから。

【卸売業・水俣商工会議所】

人手不足を考えると、今後外国人の雇用も検討する必要がある。

(9) 経営上の課題や懸念事項

【運輸業・本渡商工会議所】

今年4月からの2024年問題で時間短縮の課題がある。関東方面を名古屋ぐらいまでの仕事に変更している。

【建設業・荒尾商工会議所】

・社会保険料の負担が大きいと、設備投資に回す余裕がない。同様に、賃金をこれ以上あげられない。人材確保のため、現状維持している状況。
・現場に入る従業員の情報について、元請会社から要求される内容が細かすぎる。業務に関係ないことまで聞かれ、情報提供に同意しないと仕事がもらえないなど、パワハラを感じるようなことが増えていると感じる。

【サービス業・熊本商工会議所】

主要取引先の歯科医院において歯科衛生士が不足しており、売上増が見込めない。最近では男性の歯科衛生士も増えてきたが、絶対数が足りないため、取り合いになっている。就職希望者を増やすためには給与、休日数等を整える必要があるが、ある程度人数が増えなければ難しいため、ジレンマとなっている。

【宿泊業・人吉商工会議所】

・職種によって今後人材の確保が出来るかどうか。
・群市内のアクティビティが天候に左右されたり、まだ不足しているので、国内観光客の入込に不安。

【建設業・人吉商工会議所】

R2災害復旧工事が一服し、公共工事の事業量が減ると思うので、民間の設備投資の状況が気になっており、営業方針を考えて受注量を増していこうと思っている

【サービス業・荒尾商工会議所】

事業所内の建物など設備投資をしなければならないが、物価高・仕入高により収益に不安を抱えているため、再度価格の見直しが必要である。また、国が打ち出したキャッシュレス決済推進により、手数料等の負担が大きくなってきていることが懸念される。

【小売業・水俣商工会議所】

設備更新のために新規融資を検討しているが、ゼロ金利政策解除の動きは不安。金利負担が上昇するのであれば、融資以外の調達方法も検討しなければと思う。

【飲食業・熊本商工会議所】

代表の高齢化により、2代目への引継ぎをどのように行っていくのが課題。東京からもM&Aの話があることから、法人は残して店舗を売却し、その資金をもとに小型店舗の運営も考えている。

【宿泊業・山鹿商工会議所】

今後長く経営していくためには、人材の確保が必須となっている。現在の従業員だけでは負担が増え疲弊してしまう。

【運輸業・山鹿商工会議所】

4月26日より運賃改定されるが、利用者減にならないか不安がある。人手不足ではあるが、募集を出してもなかなか人が集まらない。

【飲食業・本渡商工会議所】

人材不足、人材育成。誰もが同じものを作るマニュアル作り。未経験でも拉麺がつかれる仕組みづくり。売り上げが増加するにつれてのお店としての受け皿(キャパ)を懸念している

【小売業・本渡商工会議所】

物価高騰で、販売価格も上がり、売り上げが減少。それでいて賃金の引き上げ率が全体的に悪いので、消費のバランスが取れていないように感じている。また、会社として賃金を上げたいが、労働基準などで、従業員が足りない中、営業時間も伸ばせないこともあり、こちらもバランスが取れていないと感じている。

【運輸業・水俣商工会議所】

乗務員の年齢を考えると、近い将来人手不足となる事を予測している。現在も求人を出しているが、

全く反応がなく、人材確保が課題と考える。

【小売業・水俣商工会議所】

人口減少による先細りはもちろんあるが、10年前に比べ大店舗が4店舗できた。その上でメーカー自体が小規模店舗を応援する土壌にない。無理して同量仕入れると言っても同価格では卸してもらえないこと。

【サービス業・水俣商工会議所】

従業員の高齢化が顕著で若手スタッフの採用ができておらず、今後の経営に影響をきたすことが考えられる。

【卸売業・牛深商工会議所】

物流の2024年問題による業界の変化が進んでいる。また、取引先の経営難、後継者問題による廃業が増えているのも大きな課題・懸念点である。

【製造業・水俣商工会議所】

デジタル化の加速や原材料費等の高騰により近年印刷業界は衰退している。経営体制の見直しを行い、新たな事業展開も検討する必要がある。

【宿泊業・本渡商工会議所】

コロナ関連融資の返済、売上が戻らない。諸経費の高騰による利益の縮小など。

【建設業・本渡商工会議所】

資材や燃料費の高騰に加え、人件費の上昇、インボイスによる消費増税など、先行きの不透明感が強くなるばかりで、今後の事業経営は相変わらず不安感しかない。

【卸売業・水俣商工会議所】

創業50年以上になるが、当時からほとんど取扱商品が同じ。時代に合わせた新規事業の検討が必要である。社会構造上の変化により、卸売という業種自体の必要性に危機を感じており、存在価値や確固たる基盤を再構築する必要がある。

【製造業・牛深商工会議所】

人手不足に対応するため機械化、省力化を行いたいがなかなか合う機械が見つからない。

【製造業・熊本商工会議所】

コロナ禍で経営状況がボロボロになり立て直しを行っている矢先に、次は原材料やエネルギーコスト、人件費などコストの高騰により採算ギリギリであるため、政策・施策で助けてほしい。

(10) 支援策・要望事項

【卸売業・荒尾商工会議所】

- ・販売促進の補助や助成がないか。
- ・商品の流通経路を変える商品づくりをするための支援などないか。
- ・雇用の応援などないか。

【運輸業・本渡商工会議所】

国が決めた運賃と荷主が支払う運賃とに開きがあり、その差額を補填するなどの施策があればよい。

【サービス業・熊本商工会議所】

デジタル人材を育成する制度を設けてほしい。大企業は人員が豊富であるため、若いデジタル人材を採用して自社で育成できるものの、中小企業は人的・資金的余裕がなく、採用する際はどうしても即戦力に偏ってしまう。中小企業が若いデジタル人材を採用できるよう、一人前になるまでの人件費の補助があると助かる。

【小売業・山鹿商工会議所】

海外販路開拓のための専門家のアドバイス支援や生産性向上のための設備導入の支援。

【宿泊業・人吉商工会議所】

観光に結び付く事業や催し物の実施・開催関係の予算を確保して欲しい。

【サービス業・熊本商工会議所】

児童福祉分野・障害福祉分野の報酬改定が3年に1回あるが、今年の改定で全体的に報酬が下がることとなった。同業者からは今回の改定により事業をたたむとの声も聞いている。自社は加算報酬を積極的にとっていき、売上の安定を図る予定であるが、加算報酬をとるためにはある程度の経理知識やパソコンスキルがないと難しく、業界的にふるいにかけていくのではないかと感じる。できる限り報酬を下げないでいただきたい。

【飲食業・八代商工会議所】

現状の収益をあげるのに必死である。もしできれば、教育機関等、持続的に経済効果が見込まれる施設の誘致等。

【建設業・熊本商工会議所】

業界のスリムアップ。建設は特に業者の数が多く、すそ野が広すぎる感がある。M&A等である程度再編・グループ化していくことが必要ではないか。また、AIが発達しているが、すべての仕事が取って代わるわけではない。各社がイノベーション・変革していき、時代に先駆けた動きが求められる。

【運輸業・牛深商工会議所】

賃金引上げに対する何らかの助成(中小零細企業に対する)をしてほしい。

【卸売業・水俣商工会議所】

政府はキャッシュレス決済を推進しているが、粗利の低い品物を扱う事業者にとって決済手数料は痛手。事業者団体に連携して、決済手数料が安いキャッシュレスブランドを作るなどの取り組みがあればありがたい。また、国への注文としては、酒税法の見直しを望んでいる。現在の法律では、健康上への悪影響が大きい甲種のアルコールのほうが税率が低いので、売りがやすく買いやすい仕組みになっている。時代に合っておらず、矛盾も多い法律なので、国は見直しを図るべきと思う。

【小売業・水俣商工会議所】

喫緊のニーズとしては、定額減税の実務対応について。給与支払事務に諸々変更があるにしては、あまり積極的にアナウンスがなされていない印象。税務署からリーフレットは来たが、不明点も多い。時限的な措置ではあるが、説明会やセミナーなど開催してほしい。

【宿泊業・山鹿商工会議所】

旅行割引があったときは多くのお客様にご利用いただきありがたかった。何かきっかけがないと旅行割引は難しいと思うが、全国から熊本・山鹿に来てもらえる仕掛けは必要だと思う。

【飲食業・熊本商工会議所】

様々な業種に一律の労働基準を強いるのは無理がある。労働人口は減少しているのに規制は厳しくなる

ばかり。規制緩和やそれぞれの業種に見合った制度設計を求める。

【製造業・山鹿商工会議所】

観光客増。祭り以外の時期も県外から観光客が増えるような取り組みを考えてほしい。

【建設業・山鹿商工会議所】

今回の円安で得をしているのは輸出産業で、損をしているのは国民と中小企業。円安を放置している政府にも問題がある。

【飲食業・本渡商工会議所】

券売機を導入しているが、今度刷新される新しいお札に対応していないため、支援策、助成等があればいいと思っている。

【運輸業・水俣商工会議所】

タクシードライバーとして必要な2種免許について、免許取得費用の補助制度などあれば、人材不足解消につながるのではと思う。また、高齢化社会においてはお年寄りの自動車運転事故回避の観点からも、免許返納者に対してタクシーも含めた公共交通利用補助制度などが充実すると、社会的にも業界的にもプラスになるのではと思う。

【宿泊業・人吉商工会議所】

燃料費等高騰に対する直接的な(省エネ設備等)補助金や支援制度。

【卸売業・八代商工会議所】

<補助金> 中小企業では、補助金の申請書作成・申請後の報告に大きくリソースを取られてしまい申請自体を見送るケースが多い認識(行政側もそれを狙ってやっているとは思いますが、)。申請と報告を簡素化する仕組みが欲しい。

【小売業・八代商工会議所】

近々で言うなら、新紙幣対応レジによる経費を補助していただきたい。地方のスーパーにはきつすぎる。

【製造業・水俣商工会議所】

原材料の高騰や最低賃金の大幅な改正により、経営が圧迫されている状況。従業員の賃金引上げに対する何らかの補助があれば助かる。

【建設業・水俣商工会議所】

建築・公共工事が減少している。発注者に対する補助や助成など支援策があれば着工件数が増加し、建設業者も仕事を確保できる。

【製造業・熊本商工会議所】

コロナ禍で経営状況がボロボロになり立て直しを行っている矢先に、次は原材料やエネルギーコスト、人件費などコストの高騰により採算ギリギリであるため、政策・施策で助けてほしい。使える助成等。また、原材料高騰等の外部環境の変化による影響も大きく、給付金等あれば助かる。

【サービス業・荒尾商工会議所】

過去に大手結婚式関連の会社の調査で「結婚式を挙げたカップルの離婚率が低い」という統計データがあるように、夫婦が人生の大きな節目である結婚式を執り行うことで夫婦の絆が強固になり将来的に子作りや少子高齢化につながる可能性が高いと思われます。社会全体の割合ををしてみると結婚式の企業は多くありませんが、その性質としては非常に大きなものだと思います。少子化対策の一環として結婚式場への具体的な支援策が求められます。